

失われつつある「伝統」。今、世界中の伝統が消えつつある。
機械化が進み、生活自体がグローバル化し便利になつた現代。

今回は「これから伝統」について、主に日本建築に関わる

職人と共に語り合い、継承の道を探る。

このトークで提案された課題やアイデアは翌日（11月24日）

「上町台地の歴史と未来創造シンポジウム2017」フォーラム分科会で発表し、
全体の提言につなげます。職人の手仕事や文化に興味がある方、暮らしに職人の技を
取り入れたい方など、ぜひご参加ください。



▲上町台地の歴史と未来創造シンポジウム2017 寺社から日本の未来は見えるか？

特別企画

職人くるま座トーク

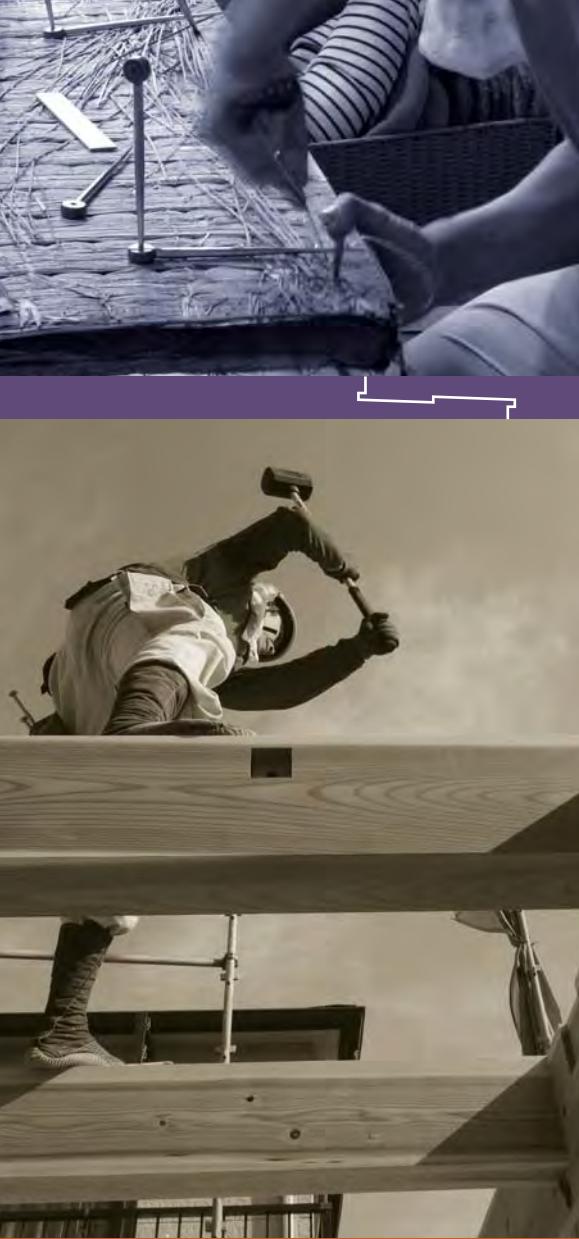
参加型トークイベント「技が繋ぐ職人の未来」

2017年11月23日(木・祝)
13:30 ~ 16:30

*開場：13:00
会場：四天王寺本坊客殿
参加費：無料
定員：50名

先着順受付

13:30より会場にて「伝統工法」を駆使して
作られた移動式三畳間の和室「器 -うつわ-」の
組み立てデモンストレーションを行います。



Arts Support Kansai

職人車座トーク・パネリスト



山守：中井 章太
中神木材（奈良県吉野）
七代目山守。朝は林業、昼は議会と幅広い視野で地域や山を見る。



銛木店：坂本哲郎
坂本商店（奈良県吉野）
社寺建築用材などを扱う、吉野ひのき天然乾燥材専門店、「坂本商店」三代目。



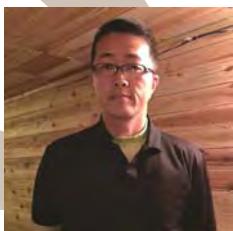
大工：沖本 雅章
堺三郎（豊中市）
建壳大工から手刻み大工に転身して10年。手仕事や考える仕事が好きな若手大工。



大工：山田 晋也
(株)山本博工務店（大阪市）
美容師から大工に転職。家庭を持ちながら新たな分野で修行する若手大工。



断熱現場監督：古川 和幸
(有)ケイジー断熱（箕面市）
高性能吹付断熱の営業マン。
プライベートでは茅葺を残す活動をしている。



断熱職人：都谷 大輔
身の丈建築工房（愛媛県西条市）
大工業と、新聞紙を利用した
断熱工事を請ける。今後は四
国に移住し農業もする予定。



表具材料卸問屋：川口 洋
(有)川口商店（大阪市）
大正8年から続く、襪・表具
材料卸問屋、三代目。流通に
止まらず施工業も展開。



豊店：徳千代 泉
豊店あわとく（兵庫県尼崎市）
大正5年創業。畳が好き、そ
れを愛してくれるお客様が好
き、という思いで続けてきた。



木工職人：吉田 祐子
(有)未来工房（摂津市）
レンタルビデオ会社勤務後、
手に職を付けようと職業訓練
校へ。木工工房で職人1年目。



営宮大工：鳥羽瀬 史如
(株)鳥羽瀬社寺建築（東大阪市）
関東で修行後、父創業の鳥羽
瀬社寺建築に入社。
現在4年目。



伝統建築／商品開発：古川 多夢
(株)久宝金属製作所（大阪市）
自社ブランド製品企画、開発、
製造、販売、アフターまで自
社で行う珍しい町工場。



木工にまつわる様々な活動、
情報発信をしている。
「つくる家具」考案者。

「職人車座トーク」お申し込み方法 ▼ 「先着順受付」となります。

上町台地の歴史と未来展望実行委員会HP (<http://uemachidaichi.com>) お申し込みフォーム、もしくは
メール (info@uemachidaichi.com) にて「お名前・メールアドレス・お電話番号・参加希望人数(2名まで)」
をお知らせください。お申し込みいただいた後、詳細を記したメールが届きます。



上町台地の歴史と未来創造シンポジウム 2017

<http://uemachidaichi.com>

寺社から日本の未来は見えるか？

参加には別途お申し込みが必要となります。

11/24(金) 第1部 フォーラム (13:30 ~ 17:00) / 第2部 音楽絵巻 (17:30 ~ 18:30)

聖徳太子が593年に建立した四天王寺は、伎楽や能楽などわが国の芸能文化の原点と言える場所であり、建築・工芸・医療・福祉・教育・観光などの現代産業も四天王寺からはじまりました。

「日本最古の門前町」を中心としたさまざまな観光・文化・産業の歴史を発掘し、新時代に向けたイノベーションと次世代都市創造について、多方面から議論し提言するシンポジウムです。

主催・お問い合わせ：上町台地の歴史と未来創造実行委員会
後援：大阪府・大阪市・大阪商工会議所

<http://uemachidaichi.com>
E-mail : info@uemachidaichi.com

助成：アーツサポート関西「上町台地の歴史と未来創造のための文化活動寄金助成」